

独占偏愛

父の借金のかたに堕ちていくソシケの末路





へえ：こんなにして
こういうの
好きなんですか



俺おかしく
なっちゃうよ
：誰か

借金取りさん：



半年前

突然父の残した借金の
返済を迫られた。

拓也くんは社会人？
良かったね
支払い能力無かったら
危なかったよ

借書

蒸発した父親？
せめて死んでたら
良かったんだけど

見つかるまでは
君に頑張って
貰わないとね

シネ

イデッ

アッ
何すんやんかッ

ズン



ちよ：ユウ
やめなさい！

てめーみてーな
ヤクザに返す
義理はねーだろアホ！



立場が
わかって
ねーな

俺は末端の
末端だから
何の権限もねーが



法律で
守られるとは
思わんほうがいい

紳士的に対応
するのは俺くらいな
もんだからね

わ：かりました

月々の払いにして
貰えますか

この日から
三回は返済したが

膨れ上がる利子に
終わりが見えずにいた

君の自宅
誰も出ないけど

また何かあったの？
ご両親居なくて
大変なのは知ってるけど

このままだと
役所に連絡しないと
いけないんだ

すみません：



失礼します

：大丈夫です
父の件でもお世話に
なってるし：

僕で
力になれるなら
言っしてほしい

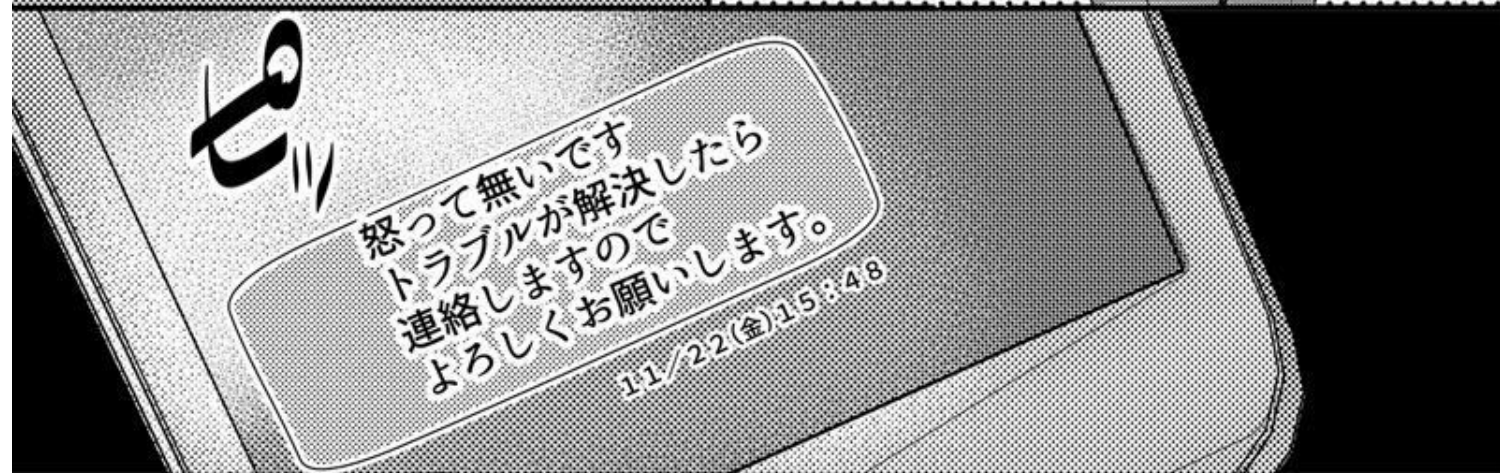
ぞっ



ガッ

...

ガッ





ありや、良く
用意できたねー

もう帰ってよ
弟が寝てるんだ





何度も言うけど
俺は下っ端だからね

恨まれても
しらん
それより

飯残ってんだろ
ちゃんと食えよ



あれは弟の
朝ごはんだよ

俺はいいけど
あいつには苦勞とか
させたくない



.....







フツの暮らしに
しがみついても
不幸になるだけだぞ

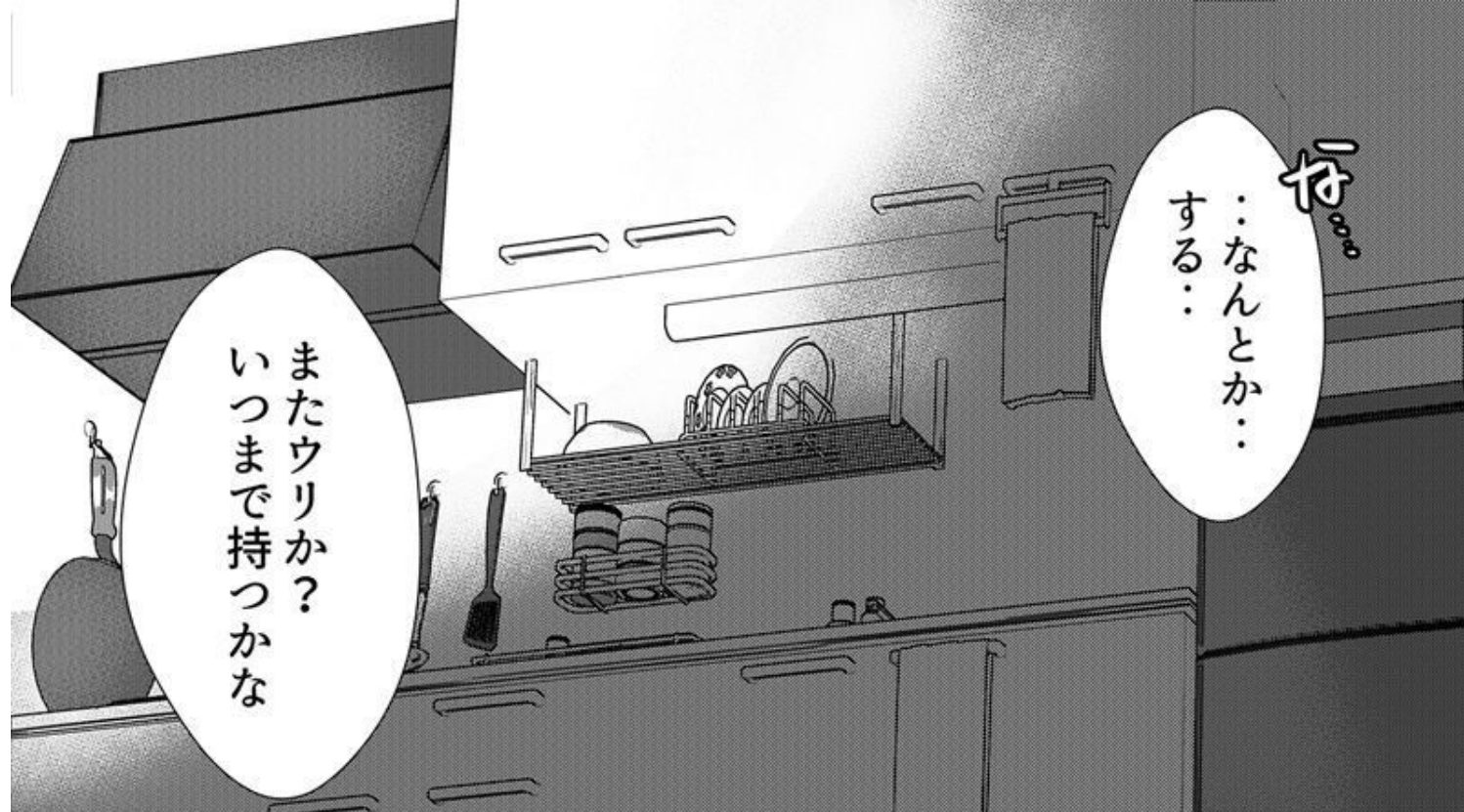


このままだと
弟と一緒に底辺まで
落ちるぞ



弟がいる
俺が守ってやらないと・

：だから体
売ったのか



…なんとか…
する…

またウリか？
いつまで持つかな



…ケガ

…は？なんだよ



おー、

さっき取り立てで
ナイフでやられたけど
そんなこと
どうでもいいんだよ

ケガ、してる
あんた

…あんたには





これも
弟がくれたんだ

誰かに
心配されるのは
嬉しいよ



あんたが
心配してくれてるのも
嬉しいけど
俺は弟を見捨てられない

だからせめて
借金取りさんが
寂しくないように



心配してるよ、
悪いことから
守られますように。
って、

祈ってるから。



バカなやつだな。

おめ



どうせ
行き着く先は
俺と同じ地獄だ。

また来るよ。

グッ
グッ
グッ



ちっ
：めんどくせー
なあ：

グッ
グッ
グッ

フムフム

なんか用？

成瀬さんのお宅で
何してたんですか

は？なんだよ
ストーカー？

いっや

僕は
関係者ですから。

教師として
この状況は
見過ごせません

あー？

あのクソ生意気な
ガキの担任か

いっや



保護者と
教師：って感じじゃ
ねーなあ

!



本当にあいつらの事
考えたら

児相に通報でもして
保護してやるべきだと
思わねえ？

：まあいいか。
で？先生

俺に
何を言いに来たの？

親の借金を
返す義務は
無いはずだ

ましてや
貴方のような所で
借りた場合

訴えれば
支払い済みのものすら
返還される：

へえ、

やつぱり

担任の域
超えてるじゃねーか

拓ちゃんに
惚れてんの？

...



あれ？

否定しないの

あなたみたいなの
怪しげな方が
出入りしている
場所じゃ無い

そうそう
俺らみたいな
業種の間が
黙って退くと思う？

だから
アイツは



自分の身体まで
売りやがったんだ

なあ、先生はさ、



弟くんが拓也の
足枷になってるって
分かって何で
通報してやらねーの？



「拓也と会う理由」が
無くなるから？



エゴだなあ

けどさ、
先生がそうやって
ウジウジしてる間に

はっ
はっ
はっ

金に困り果てて
拓也はどん底へ
まっしぐらってわけだな。

嘘だ

ウソ？
俺だつてハラワタ
煮えくり返ってんだ
嘘なら嬉しいなあ

あれ、顔色わりーけど
大丈夫？



けどまあ、
いいんじゃない？
向いてるよアイツ

俺もしやぶらせた
けど

上も下もスゲー
良かったし
ヒイヒイ喜んでさ



：ところで
せんせー



拓也とは
もう寝た？



：ハ、ハ、
バツカじゃねーの



家族とかなんだとか
言ってたって

こんなチャチな
借金で壊れる



ほのぼの
幸せオーラ
出せなくなるまで

とことん
堕ちればいいさ









この前の
返事

頂けないで
しょうか

あ

ぎゅ



…あ…

えっと

ご、ごめんなさい
今それどころでは
無くて…

受け入れられない、
という事ですね

…



弟が
起きちゃうので…

ち、近い

ほんと、

ぎゅ



あっ
先生痛い！

ぎゅ



僕は
入れられないと？

あいつは
入ったんですね？

ぎゅ





そうか：
慣れてますもんね

拓也さんには
大したことではないか

一回
10万あげますよ



あの真っ黒な男

あいつとさつき
ココでしてた事、

僕にもして
下さいよ

：へえ、顔色
変わったな

あんなチンピラに
気を許すなんて

あなたも大したこと
無かったんだね

な、なに？
何？どう
したんだ？

お
お



細いのに
筋肉質だな

へえ、

僕なんか押しのかけて
逃げられるでしょ
そうすればいいよ

ンー！

もし今
弟に気づかれたら

表沙汰に
なっちゃったら



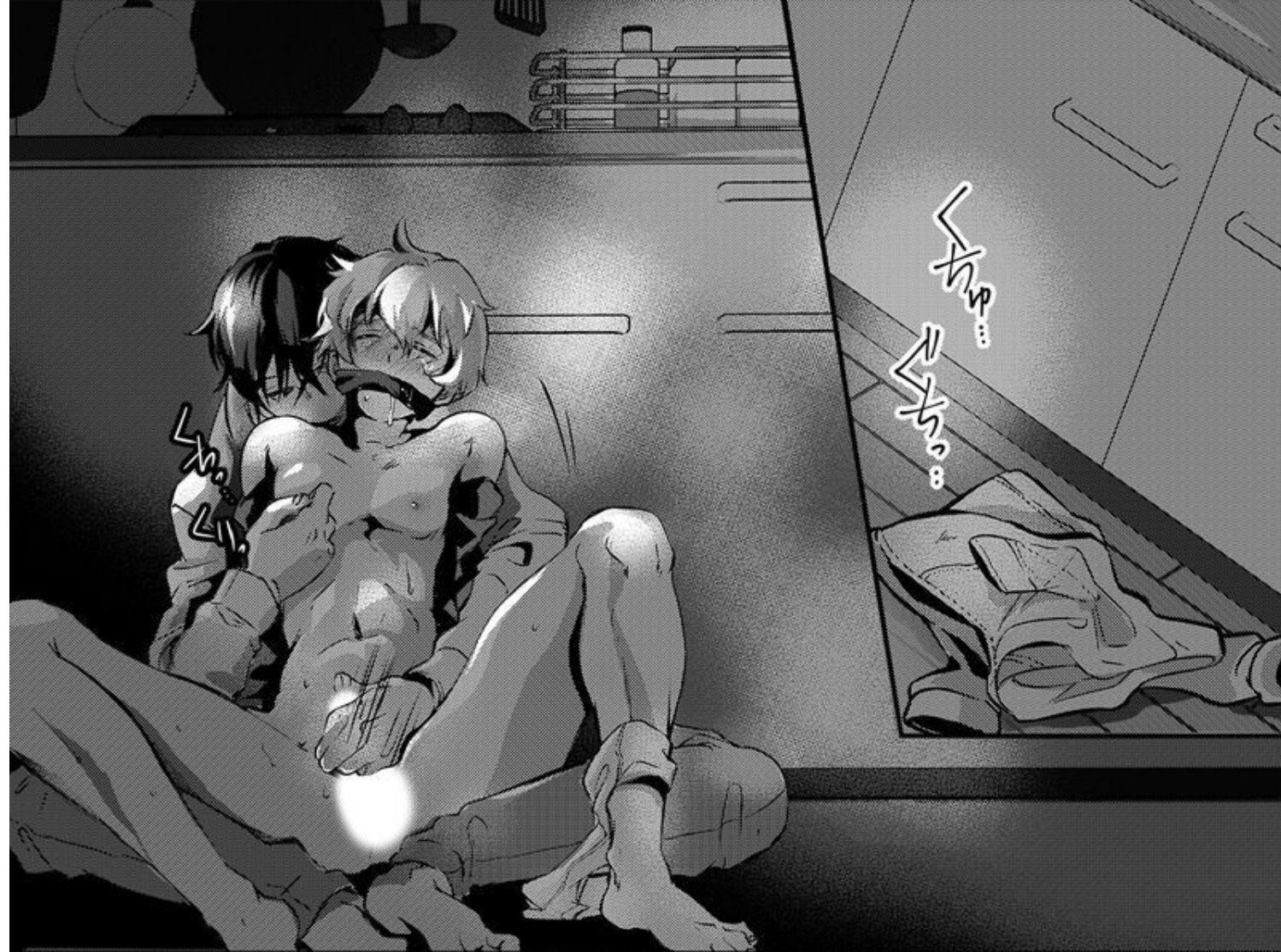
先生はどうなる：
クビ：？
どうしようどうしよう

軽蔑
してますか

けど
お互い様ですね



君がそんなに
インランだとは
僕も思わなかった



ここは：
先っぽが好きですね

ズッ
ズッ!

コッ
コッ

：少し
爪を立てて

んんんッ…!!

痛くされると
簡単にイクんだ

変態だな

先生：
優しかった先生：
なんでこんな

ゴッ
ゴッ
ゴッ



ああ

まるで
初めてみたいだな

これ……だめえッ
……痛いのに
きもちいい

そうやって
いつも男を誑かして
るんですか？



は

実に
汚らわしいね。

ぽん

僕が

しっかり
舐めてあげないと

ぴん

これから
僕が買いますから

あの胡散臭い
借金取りには

スゴクスゴク

二度と
触らせないで。

!



上も下もスゲー
良かったし
ヒイヒイ喜んでさ

…つく

つくそつ！

あんなやつに！

なんでっ
君はバカだ！

！

汚れた！

醜く汚い

ぎゅっぎゅっ

許さない

許さない

許さない！

優しかった先生が
何度も揺さぶり
罵倒してくるのを遠くに聴きながら

それでも感じて
しまった事実

ただ恐ろしくて泣いた。

うあああん……

あ……

あ……

ぐっぐっ





バカな奴。

